

事務事業名		袖の沢川河川改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	015 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目																									
	施策名	117 防災対策の推進				会計	款	項	目	事業																					
	基本事業名	013 治山・治水対策の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) R2 年度～ R4 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	08	03	02	01																					
根拠法令						事務事業区分																									
所属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業 (B) 施設整備																									
	課長名	金野 尚一				C 施設管理 D 補助金等																									
	係名	土木係	電話	0192-27-3111		E 一般(A～D以外)																									
	担当者	新沼 大輔	内線	316																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
普通河川袖の沢川における一部暗渠構造区間において、令和元年度発生した台風19号豪雨により、暗渠周辺の土砂流出が発生し、地盤沈下及び道路路面の陥没、流下能力低下による大雨時の冠水等が見受けられることから、河川改修を行ない、周辺住民の安全性確保を図るものである。  【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 令和2年度～令和2年度 ・用地補償 令和3年度～令和4年度 ・工事施工(L=55m) 令和2年度～令和4年度				<table border="1"> <tr><td rowspan="6">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td>206,100</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>897</td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>206,997</td></tr> <tr><td rowspan="3">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td>7</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>1,288</td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>5,152</td></tr> <tr><td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td><td>212,149</td></tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債	206,100	その他		一般財源	897	事業費計(A)	206,997	人件費	正規職員従事人数	7	延べ業務時間	1,288	人件費計(B)	5,152	トータルコスト(A)+(B)		212,149
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債	206,100																												
		その他																													
		一般財源	897																												
	事業費計(A)	206,997																													
人件費	正規職員従事人数	7																													
	延べ業務時間	1,288																													
	人件費計(B)	5,152																													
トータルコスト(A)+(B)		212,149																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量調査設計	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 測量調査面積</td><td>m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>イ 施工延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 測量調査面積	m <sup>2</sup>	イ 施工延長	m	ウ	
名称	単位								
ア 測量調査面積	m <sup>2</sup>								
イ 施工延長	m								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 用地補償 工事施工(L=55m)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 袖の沢川 周辺地区住民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 計画総延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>キ 周辺地区住民数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 計画総延長	m	キ 周辺地区住民数	人	ク	
名称	単位								
カ 計画総延長	m								
キ 周辺地区住民数	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 河川及び市道が整備される。 周辺地区住民により安全に利用してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 整備される河川延長</td><td>m</td></tr> <tr><td>シ 冠水による被害を抑制できる区域</td><td>m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 整備される河川延長	m	シ 冠水による被害を抑制できる区域	m <sup>2</sup>	ス	
名称	単位								
サ 整備される河川延長	m								
シ 冠水による被害を抑制できる区域	m <sup>2</sup>								
ス									
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全に移動及び活動できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(目標)</th> <th>5年度(目標)</th> <th>6年度(目標)</th> <th>7年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>13,200</td> <td>129,300</td> <td>63,600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>748</td> <td>62</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>13,948</td> <td>129,362</td> <td>63,687</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>368</td> <td>552</td> <td>368</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,472</td> <td>2,208</td> <td>1,472</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>15,420</td> <td>131,570</td> <td>65,159</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>m</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>m</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>m</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			単位	年度						2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円	13,200	129,300	63,600			その他	千円						一般財源	千円	748	62	87			事業費計(A)		千円	13,948	129,362	63,687	0	0	0	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	2			延べ業務時間	時間	368	552	368			人件費計(B)	千円	1,472	2,208	1,472	0	0	0	トータルコスト(A)+(B)		千円	15,420	131,570	65,159	0	0	0	⑤ 活動指標	ア	m <sup>2</sup>	200	200	200	-	-	-	イ	m	55	55	55	-	-	-	ウ								⑥ 対象指標	カ	m	55	55	55	-	-	-	キ	人	60	60	60	-	-	-	ク								⑦ 成果指標	サ	m	55	55	55	-	-	-	シ	m <sup>2</sup>	200	200	200	-	-	-	ス							
	単位			年度																																																																																																																																																																				
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)																																																																																																																																																																	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																					
		都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																					
		地方債	千円	13,200	129,300	63,600																																																																																																																																																																		
		その他	千円																																																																																																																																																																					
		一般財源	千円	748	62	87																																																																																																																																																																		
	事業費計(A)		千円	13,948	129,362	63,687	0	0	0																																																																																																																																																															
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	2																																																																																																																																																																		
		延べ業務時間	時間	368	552	368																																																																																																																																																																		
		人件費計(B)	千円	1,472	2,208	1,472	0	0	0																																																																																																																																																															
		トータルコスト(A)+(B)		千円	15,420	131,570	65,159	0	0	0																																																																																																																																																														
⑤ 活動指標	ア	m <sup>2</sup>	200	200	200	-	-	-																																																																																																																																																																
	イ	m	55	55	55	-	-	-																																																																																																																																																																
	ウ																																																																																																																																																																							
⑥ 対象指標	カ	m	55	55	55	-	-	-																																																																																																																																																																
	キ	人	60	60	60	-	-	-																																																																																																																																																																
	ク																																																																																																																																																																							
⑦ 成果指標	サ	m	55	55	55	-	-	-																																																																																																																																																																
	シ	m <sup>2</sup>	200	200	200	-	-	-																																																																																																																																																																
	ス																																																																																																																																																																							

事務事業ID	1834	事務事業名	袖の沢川河川改修事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	被災による河川改修として令和2年度より事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 整備により、安全・安心に利用できるので都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 被災に起因した整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員での計画延長となっており、これ以上の成果向上が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 地盤沈下が進み、安全で安心に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の「費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で来往していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公共物であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下	×		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下	×		×																		
令和4年度に事業完了予定。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	令和3年度からの繰越明許により令和4年度事業完了予定である。地元住民等から早期完成の要望を受けていることから工事完成に向けて着実に事業を進めていく。